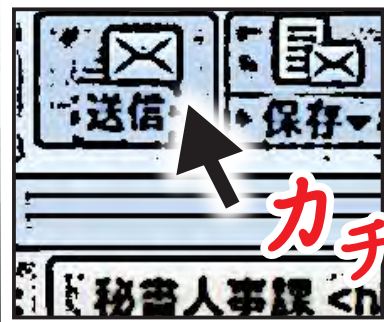


感謝のその先へ。

企画部
秘書人事課
企画政策課

お世話になっております。
標記の件について広報こうりょう4月号の最終データをお送りします。

また、この3月末を持って異動となります。
今まで、お世話になりました。
本当にありがとうございました。



最後の広報データを
印刷所に送ったものの…

何やらこの気持ち…

感動の涙とかは
出ないもんなやな。

担当⑧

広報歴5年で令和4年4月号を
もって広報業務から離れる

果たして自分のした仕事は
誰かの役に立ったのだろうか。



大変や
後輩ちゃん！

俺の心が
おかしい！

何ですか
その日本語？



ってかその話
今じゃなきゃ
ダメっすか？

後輩ちゃん

広報歴2年目

お菓子作りと砂肝が好き



何かふと
思ってたんだけどさあ

人の話聞いて
くださいよ

5年間広報やって
たくさんの人を
取材してきたやん？

ほんで
読むようになったって
声も増えたし
賞ももらった

何すか？
その急な
自慢





でも自分が
やってきたことって
誰かの役にたったん
かな？



ハア



それって
結構エゴですよ

ってか相当
ぜいたくな
悩みです



だってそりゃ
いや…
やっぱりです



ぜいたく？



それに異動なんて
そんなもんです

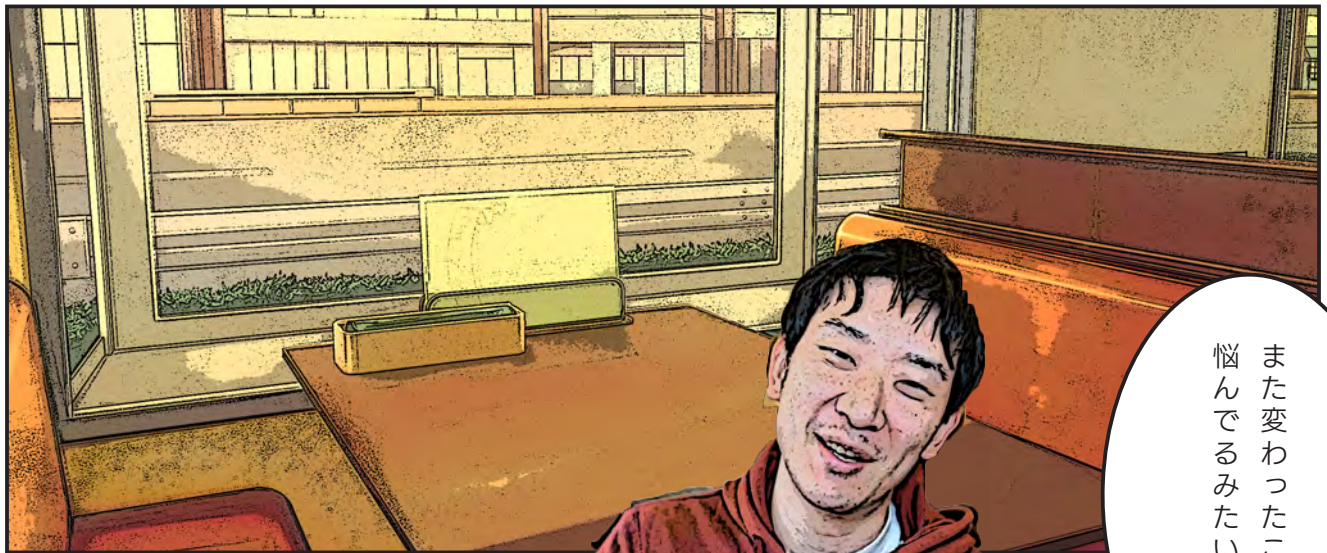
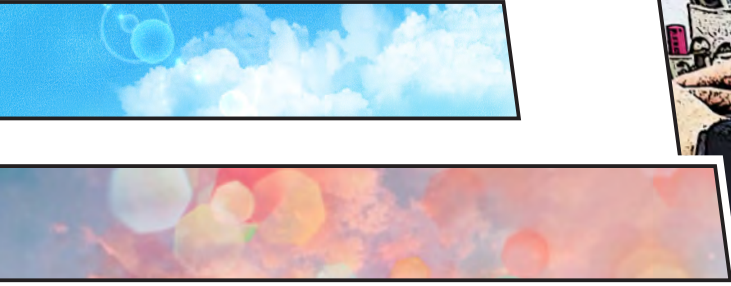
私も一回しか
経験ないですが

まああくまでも
個人的意見ですが

書類の確認
お願いします

そうゆう
もんか…

プロ野球選手の
引退じゃないんですから
何終わった気で
いるんですか？




また変わったことで
悩んでるみたいやな


先輩W（通称ワカメ先輩）

前広報担当者
担当WのWはワカメから取ったらしい。本名はWでもなんでもない。







変わったって
何すか〜




変わってるよ
そんでまた
ぜいたくな
悩みや




その後輩ちゃんにも
言われました
ってかワカメ先輩も
異動の時何かは
思ったでしょー




そりゃ何も
思わなかったわけや
ないけどさあ




まあ何にせよ
そこまで夢中に
なれる業務に出会った
のは運がよかったな



そうゆう意味やったら
まあぜいたくな
悩みですよ



ってか最後の編集後記は
俺の時みたいに
「グッバイ担当」に
するん？



懐かしいですね
「グッバイワカメ」

担当①の 和やか編集後記

「グッバイ
ワカメ」

皆さんこんにちは
担当①です

早いもので、入庁し、早一年
そして、この一年私を幾度も救ってくれ
たのが、実は「ワカメ」だったので

毎日、「ワカメ」に

喜ぶ日もあれば

「ワカメ」に
悩む日もあり
ました…

しかし、そんな私ですが4月から
「ワカメ断ち」となりました

色々、思うことはありますが、今伝えたいのは、1年間ありがとうの一言です

改めて見ると
職員以外
意味分からんなー

普通に読むと
僕の朝ごはんの
話ですからねー

これは祖母が
亡くなった時の
ものですね

こっちは熱出て
発行が危うかった
時のものです

裏話いっぱい
あるなー

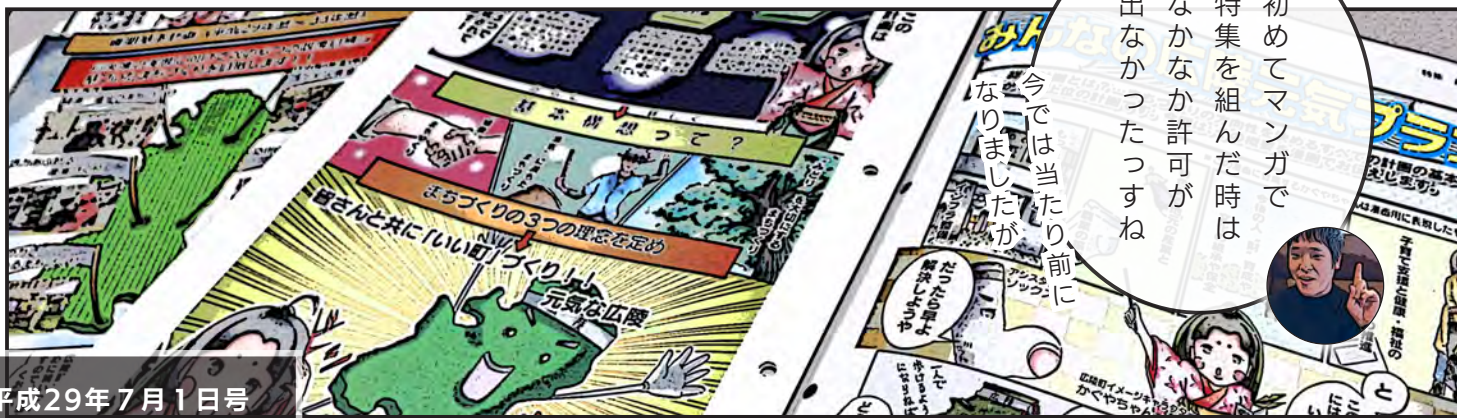
令和2年3月1日号

令和元年5月1日号

見返したら
いろいろ思い出して
きますねー

そりゃ5年で
50冊以上発行
したらなあ





初めてマンガで
特集を組んだ時は
なかなか許可が
出なかったっすね

今では当たり前
になりましたが



平成29年7月1日号



そういえば
リニューアルして
デザインを一新
したなあー

表紙結構
好きやねん



平成30年1月1日号




賞もありがたいことに
いただけましたねー



それに…
たくさんの人に
出会えました






本当に広報のことやと
楽しそうやな



へ？




自覚ないんかい



でも自分がどれだけ
好きやったとしても

それが誰かの役に
立ったのか
分らんので
モヤモヤしますわー



何それ？
勘違いしてんで

そりゃ仕事の評価やったら
その考えは絶対いる

まあ難しく
考えんなや

スツ

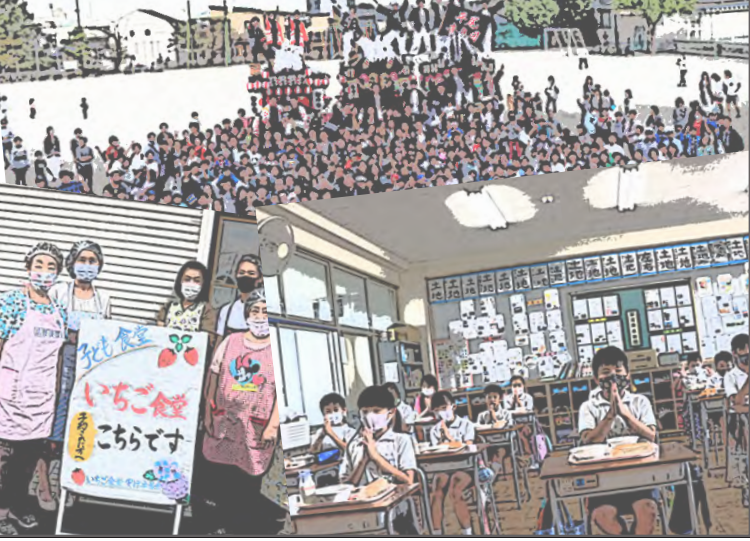
って言うてる
側から!

でも今の話って
自分がいかに満足したか
楽しかったかが
重要やないん?

満足したか
楽しかったか



果たして自分は



楽しかったのか

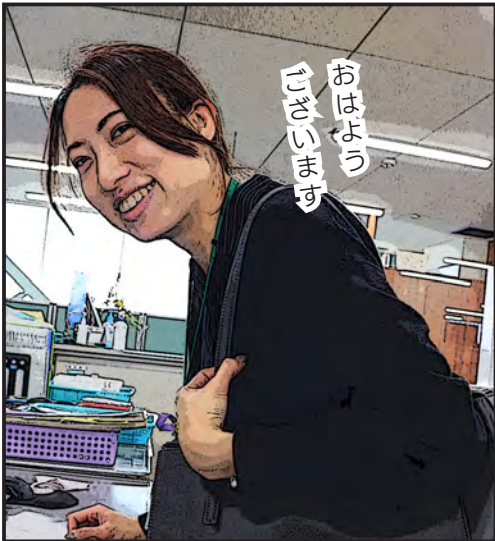
↑ 尿路結石ができてしまい毎日2ℓの水を飲んでいる。マジで痛い。







何や。



そんなん答え
出てるやん





もう悩みは
解決しましたか？

ん？
まあな

それは
良かった…



そんな隣で見てたら
すぐ分かるわ

役に立てたか ×
↓
自分は楽しかったか ○
↓
その思いをさせてもらった
ことに感謝
果に自分は楽しかったのか？
楽しかった!!

— 担当Ⓚの最後の編集後記 —

感謝のその先へ。完

担当㊦の最後の編集後記

あ と が き

「この編集後記で後悔しないか？」

令和4年4月1日号完成間際に、上司に言われた一言です。

広報紙本編に掲載の編集後記を描き終えた時、

私も「最後にこれはどうだろうか」と悩みました。

何しろ、伝えたいことが多すぎたからです。

だからと言って、編集後記に何ページも割くことはできません。

それに、一職員が前に出過ぎることは

町民が主役の広報紙の理念に反してしまうと思ったのです。

ですので、最後は可もなく、不可もなくと決めていました。

そんななか、上司は

「後悔する。伝えたいことがあるならちゃんと伝えろ」と

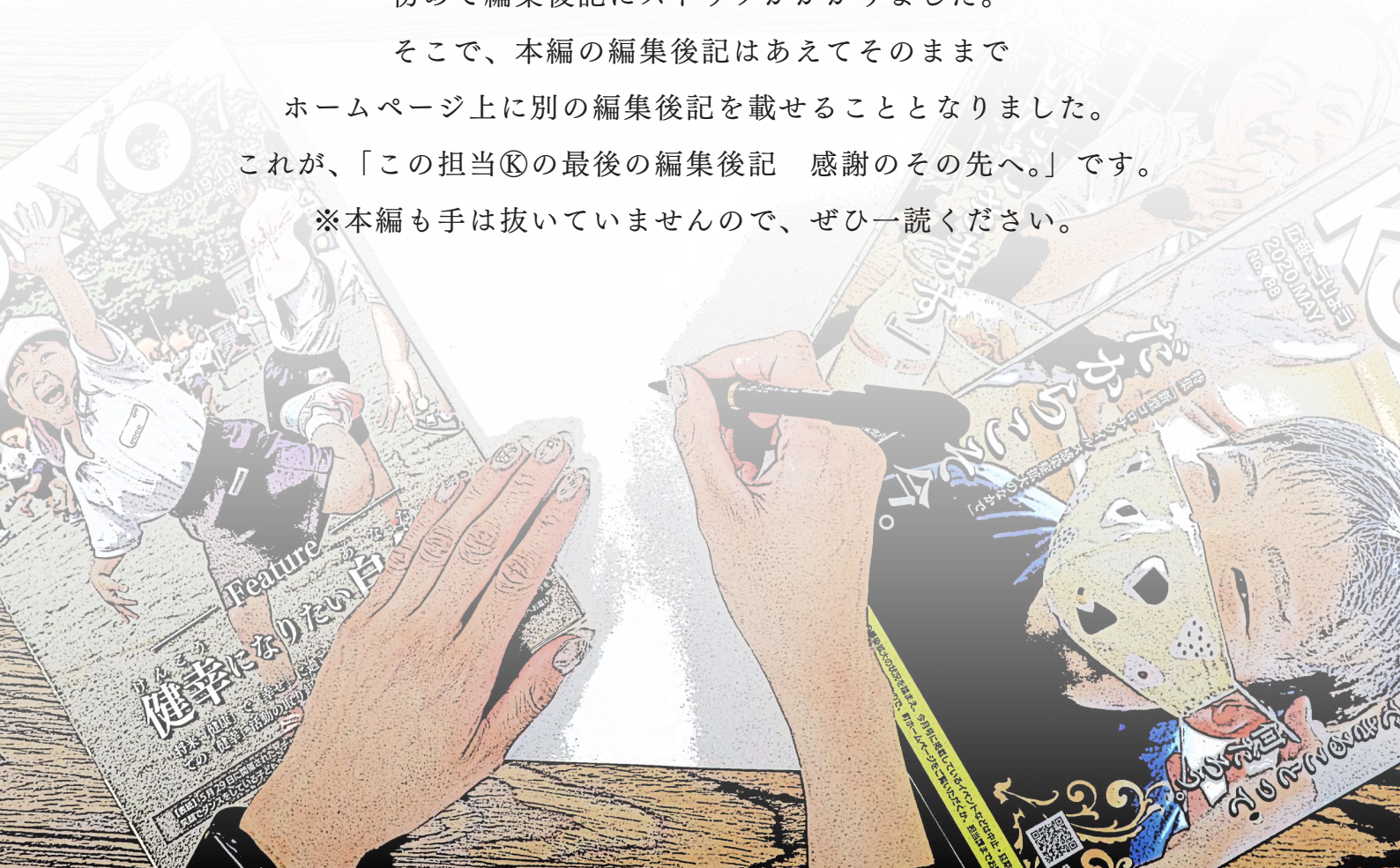
初めて編集後記にストップがかかりました。

そこで、本編の編集後記はあえてそのまま

ホームページ上に別の編集後記を載せることとなりました。

これが、「この担当㊦の最後の編集後記 感謝のその先へ。」です。

※本編も手は抜いていませんので、ぜひ一読ください。



この編集後記を描くにおいて
伝えたいことは何なのか。
そのことをずっと考えていました。
伝えたいことは皆さんへの「感謝」しかないと思っていたのですが
そもそも「感謝」って何に対して何だろうと
なかなか自分の中で答えがでませんでした。

もちろん広報紙を作るのに、
協力していただいたことへの「感謝」は第一にあります。
ただ、それだけでない「感謝」の姿が私の中にありました。

その正体が分からないまま、日が経っていきました。
そんなある日、SNSにこんな投稿が流れてきました。
「今の仕事マジで無理。何でこの仕事選んだのだろう」
内容は仕事への愚痴でした。

その他にもたくさん投稿が流れてきました。

その時です。

「ああ…自分は今の業務が楽しいなあ。ありがたいな」
これだ。と思いました。

自分の中にあったもう一つの「感謝」の正体。

これをこの編集後記に描こう。

思い返すと、大変なこともたくさんありましたが
「楽しかった」と胸を張って言えます。

これでようやく、皆さんに本当に「感謝」を伝えることができそうです。

皆さん5年間、広報紙作成にご協力いただきありがとうございました。

そして

私にこんな楽しい思い出を残してくださって
ありがとうございました。

秘書人事課 広報担当 担当Ⓚ



※お気づきと思いますが、作中では分かりやすいようにいくつかのフィクションを交えたストーリーになっています。今回登場いただいた先輩、後輩のセリフは実際よりも誇張して描いています。
登場していただいた方々への誹謗中傷はお控えください。

担当㊦の想い

引き継がれる意思

町を知るために目にするものが、広報紙。

「広陵町の顔」と言っても過言ではない、広報紙。

広報紙の製作・発行という仕事はとても責任のある仕事です。

そんな重大な仕事に、なぜ私が就いたのだろう…。

担当㊦先輩のようなデザイン力も無ければカメラも使えない…。

でも、仕事だしやるしかない。

最初はそんな気持ちで取り組んでいました。

取材や撮影、他の課や業者とのやり取りなどを

担当㊦先輩に教わり、共に仕事をする中で、

「この人は、本当に楽しそうに仕事をするなあ」

そう思っていました。

最初は「無理だ、私にはできない」と決めつけていましたが、
いつしか私も「楽しんで仕事をしたい」と思えるようになってきました。

そんな気持ちにさせてくださった担当㊦先輩に「感謝」です。

広報紙のデザインは担当㊦先輩の真似になるかもしれないし、
カメラで撮影した写真は、ピンボケしたものになるかもしれない。

それでも、この「感謝」の気持ちを引き継ぎ、

私らしくがむしゃらに「楽しく」頑張りたいです。

